

ステップ3：インターネット常時接続のライブ・カメラづくり

燕木 岳志

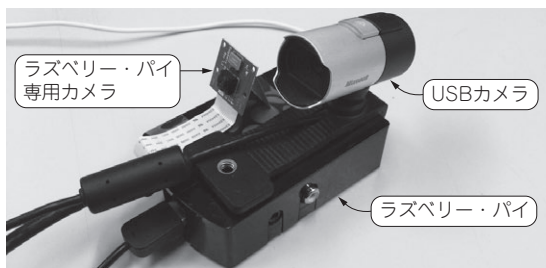


写真1 インターネットで外出先からいつでも見られるラズベリー・パイ・ライブ・カメラ

第6章と第7章でラズベリー・パイで自宅サーバを構築し、外部端末(PCやスマホ)からドメイン名でアクセスできるようになりました。本稿ではこれらの環境を使って常時接続OKの画像配信カメラを作ります。写真1に制作した画像配信カメラを示します。写真2に撮影した画像を示します。

手順1：ウェブ・サーバで画像を表示できるようにする

まずは実際にラズベリー・パイで作ったWebサーバ内に置いたテキスト・ファイルや画像ファイルにアクセスができるようにしてみましょう。

RaspbianではApacheをインストールしただけだとリスト1で設定されているデフォルトのバーチャル・ドメイン・サイトが動きます。このバーチャル・ドメインは特にホスト名が設定されておらず、ほかに具体的なホスト名をServerNameなどで指定した別のバーチャル・ホストの設定がありません。この自宅サーバにブラウザでアクセスすると、リスト1のDocument Rootの設定に基づいて、Raspbianの/var/www/をトップページのディレクトリとしてコンテンツを返すこととなります。つまり、

```
http://192.168.11.82/=Raspbianの/var/www/
```

になるということです。



写真2 ライブ配信中！外出先から取得した事務所の画像

● その①：直接データ・ファイルを置く場合

直接データ・ファイルを置く場合は、/var/wwwのroot権限が必要です。一般ユーザ(piなど)の権限では何もできません^{注1}。

例えばラズベリー・パイ専用カメラPiCamで撮影したJPEG画像を見せたい場合には

```
$ sudo raspistill ¥
--width 800 ¥
--height 600 ¥
-quality 75 ¥
-awb fluorescent ¥
--output /var/www/raspistill_
picam001.jpg
```

のようにすると、http://192.168.11.82/raspistill_picam001.jpgで撮影した画像を見ることができます。インターバルに撮影するのなら、このコマンドをcrontabなどに設定をすればよいでしょう。

● その②：HTMLでファイルへのリンクを書く場合

エディタ・ソフトで/var/www/raspistill_picam.htmlに、